

平成 23 年度「手づくり郷土賞」認定証 授与式

「手づくり郷土賞」とは

全国各地において、地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として再認識し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりに成功している事例が数多く見受けられます。

このように、地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、「手づくり郷土賞」として表彰するとともに、好事例として広く紹介することにより、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

「手づくり郷土賞」は昭和 6 1 年度に創設され、平成 2 3 年度で 2 6 回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

近畿管内では、大賞部門で 1 件が選定され、認定証授与式を開催しました。

認定証授与式

大賞部門 「若狭鯖街道熊川宿」

(受賞者: 若狭熊川宿まちづくり委員会、若狭町)



若狭鯖街道熊川宿

「若狭熊川宿まちづくり特別委員会」は、町並みを活かしたまちづくりを目的に平成7年に設立しました。重要伝統的建造物群保存地区である熊川の歴史や自然を活かしながら、毎年の建物修理に加え、前川用水の清掃作業、登山道の整備、町文化財を活用した喫茶と宿の運営、鯖街道の交流、ブータンや韓国との国際交流等、多様な事業を展開しています。熊川宿の高齢化率は現在43%ですが、30代から50代の住民が中心となった手作りの観光イベントを行い例年1万人の来訪者があります。住民と同じようにまちづくりに関わっていただける人で組織した「熊川宿ファンクラブ」も発足し、熊川に対する想いの輪が広がっています。



区民総出で清掃活動



てっせん踊り復活での交流活動



建造物の修繕活動と技術伝承



1万人もの来訪者がある賑わいの街